

花ちゃん、オー君、モンタ博士、フツ博士のくわくわくドット組立ててく5

国立市立国立第七小学校

平成29年5月11日 NO.16 (416)



バス道路『第一団地』停留所近く

花ちゃん 「うわあー！きれいな花はなですね。」

オー君 「すてきな花はなですね。色もまっ白しろでいいですね。」

花ちゃん 「まるでシャンデリアのようですね。」

オー君 「そうだね。それじゃ、『シャンデリアの木き』という名前なまえにしようか。」

モンタ博士 「そうだね。自分たちでお気に入りきいの名前なまえをつけるのもいいね。」

花ちゃん 「ところで、モンタ博士。この木きの名前なまえは何なんというのですか。」

モンタ博士 「名前なまえは『エゴノキ』というんだよ。」

オー君 「あまり聞きかない名前なまえですね。」

花ちゃん 「そうね。私わたしも初はじめて見る花はなです。」

モンタ博士 「そうかな、このエゴノキというものは、モンタ博士のおうちの近ちかくの雑木林そうきばやしではあちこちに見みられるものだけど、みんなも見たことあるでしょう。」

オー君 「どこにあるのですか。ぼく、^み見たことありません。」

花ちゃん 「^{わたし}私も^み見たことがありません。どこにあるのですか。」

モンタ博士 「バス道路の『富士見第一団地』の交差点の^{ところ}所、『第一団地』のバス停留所^{ていりゅうじょ}の^{ちか}近くに^{ほん}2本あります。きのう^み見たら、^{はな}花が^{まんかい}満開になりそうだったね。」

オー君 「エゴノキというのは、ちょっと^{なまえ}へんな^{なまえ}名前ですね。名前には^いどういう^み意味があるのですか。」

モンタ博士 「よく^き聞いてくれたね。エゴノキのエゴとは『えぐい』という^い意味で、あくが^{つよ}強くて^{した}舌やのどを^{しげき}刺激する^{あじ}ような^み味があるからなんだ。実の^み皮にその『えぐ^みみ』があり、『エゴサポニン』という^{ふく}ものが^{ふく}含まれているんだ。」

オー君 「^{なん}何だか^{はなし}むずかしい^{はなし}お話を^{はなし}なってきた^{はなし}みたいですね・・・。」

モンタ博士 「それでは、^{おし}おもしろい^{おし}ことを^{むかし}教えて^こあげよう。昔の^こ子どもは、この^み実を^たたいて^{えきじゅう}液汁を^{かわ}川に^{なが}流したんだ。すると、^{さかな}魚が^か仮死^{しじょうたい}状態になり、それで^{さかな}魚を^と取った^とそうだよ。モンタ博士は^{はかせ}まだ^{はかせ}やった^{はかせ}ことがないから、^{こんど}今度、^み実が^ななったら^{じっけん}実験^{かんが}してみよう^{かんが}と^{かんが}考^{かんが}えているんだ。みんなも^{いっしょ}いっしょ^{いっしょ}に^{いっしょ}やってみよう。」

花ちゃん 「でも、^{さかな}魚が^{さかな}かわいい^{さかな}そう^{さかな}じゃない^{さかな}ですか。」

オー君 「^か仮死^{しじょうたい}状態^{しじょうたい}というのは、^し死^しん^しじゃ^しう^しわ^しけ^しではない^しから、^いいい^いん^いです^いよね。」

モンタ博士 「でも、^い生き^い物を^いむ^いや^いみに、^いおも^いちゃ^いみ^いたい^いにあ^いつ^いかう^いの^いだけ^いはや^いめ^いよう。」

花ちゃん 「そうですね。今は、^{いま}きれいな^{いま}まっ^{いま}白^{いま}な^{いま}すて^{いま}きな^{いま}お^{いま}花^{いま}を^{いま}楽^{いま}しみ^{いま}ま^{いま}しょう。」

オー君 「そうですね。そうしよう。そうしよう。」

花ちゃん 「この^{まえ}前は^や谷^ほ保^え駅^{えき}前^{まえ}に^{しろ}ハナ^{しろ}ミズ^{しろ}キ^{しろ}が^{しろ}ま^{しろ}っ^{しろ}白^{しろ}な^{しろ}お^{しろ}花^{しろ}を^{しろ}咲^{しろ}か^{しろ}せ^{しろ}て^{しろ}く^{しろ}れ^{しろ}た^{しろ}し、^{しろ}そ^{しろ}し^{しろ}て、^{いま}今は^{いま}エ^{いま}ゴ^{いま}ノ^{いま}キ^{いま}だ^{いま}し、^{しろ}白^{しろ}い^{しろ}花^{しろ}っ^{しろ}て^{しろ}い^{しろ}い^{しろ}です^{しろ}ね。」

モンタ博士 「そうですね。今は^{いま}白^{しろ}い^{しろ}花^{しろ}が^{いちばん}一^{いちばん}番^{いちばん}だ。緑^{みどり}が^こ濃^こくな^こって^こく^こると^{しろ}白^{しろ}い^{しろ}花^{しろ}が^{めだ}目^{めだ}立^{めだ}つ^{めだ}ね。」

オー君 「フン！^{しろ}プン^{しろ}プン！^{しろ}白^{しろ}い^{しろ}花^{しろ}なん^{しろ}か^{しろ}き^{しろ}ら^{しろ}い^{しろ}だよ。」

モンタ博士 「え！^{しろ}どう^{しろ}して^{しろ}き^{しろ}ら^{しろ}い^{しろ}なの。^{しろ}きれ^{しろ}いな^{しろ}お^{しろ}花^{しろ}だよ。」

オー君 「ぼくは^{あか}赤^{あか}組^{あか}だ。運^{うん}動^{どう}会^{かい}で^か勝^{あか}つ^{あか}のは^{あか}赤^{あか}組^{あか}だ。赤^{あか}い^{あか}花^{あか}が^{いちばん}一^{いちばん}番^{いちばん}だ！」

モンタ博士 「^{いま}そういう^{いま}こと^{いま}か^{いま}・・・。それ^{いま}では、^{いま}今^{いま}、^さ咲^{あか}いて^{あか}いる^{あか}赤^{あか}い^{あか}花^{あか}を^{さが}探^{さが}そう！」

to be continued